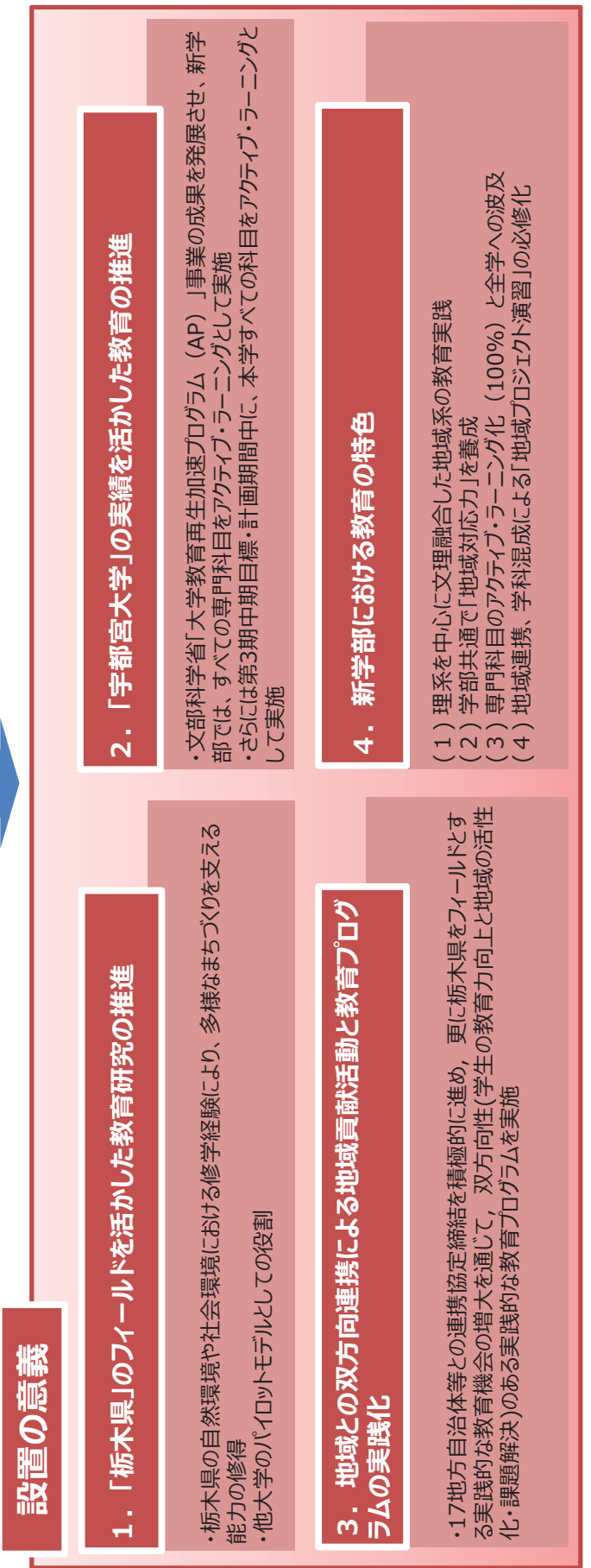
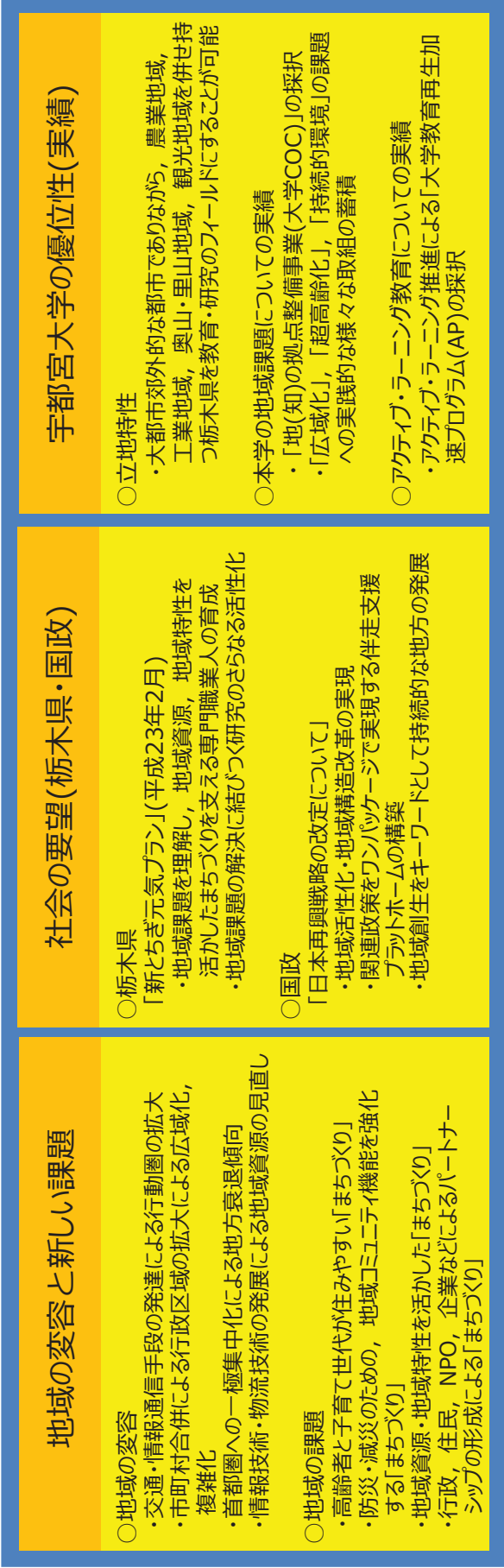


資料 7 設置の背景と意義

設置の背景と意義



**資料 8 新学部の基本理念，育成する能力
【学部のディプロマポリシー】**

新学部の基本理念

地域の持続的な発展に関する教育・研究・地域貢献を推進することによって、豊かな生活の実現に貢献する

地域の課題を理解し、各地域の強み（地域資源・地域特性）を活かした、まちづくりを支える専門職業人

どのような人材か

従来の縦割りの学問体系で対応できない、「ハードウェア（環境・建築・社会基盤）」、「ソフトウェア（制度とコミュニティ）」、「つながり」を一体的に捉えることができる人材

各地域の強み（地域資源・地域特性）を活かして当該地域の状況に適した弾力的な対応ができる人材

まちづくりを実現するため、地域住民・コミュニティと向き合い、地域に入り込んで、まちづくりに関する複数の選択肢を提示するとともにその実現に向けて協働作業ができる人材

※「地域」、「まちづくり」とは：「ハードウェア」、「ソフトウェア」、「つながり」が重層的に結びついた場を「地域」として捉え、その一体的な在り方を「まちづくり」と定義する。県・市・町・村を単位とする特定の区域を対象として限定するものではなく、どの地域でも汎用できる広い意味での「まちづくり」である。

※「つながり」とは：地域のハードウェアやソフトウェアの整備においては、言うまでもなく地域課題（ニーズ）の解決に適したものとかならない。従って、その過程においては地域ニーズを把握した上で、それらを分析し、（住民・行政機関等の）合意形成を経ることが必要となる。また、ハードとソフトの組み合わせ方は幾通りもあり、当該地域において実現可能且つ最大効果を得られる最適の組み合わせが求められる。ここでは、このような分析、合意形成やハードソフトの組み合わせ方を「つながり」と捉えることとした。

ディプロマポリシー

- 人間と社会、多様な地域に関する基礎的教養を身に付ける
- 地域デザインに関する共通のリテラシーを身に付ける
- 地域デザインに必要なソーシヤルスキルを身に付ける
- 地域デザインを専門とする職業人としての倫理観を養う

**資料 9 育成する人材像と養成する能力
【学科のディプロマポリシー】**

育成する人材	コミュニティデザイン学科 地域社会を構成する社会 集団や制度などをデザイン する人材	建築都市デザイン学科 実践的な建築技術を基 礎として居住空間をデザイ ンできる人材	社会基盤デザイン学科 実践的な建設技術を基礎 として社会基盤をデザイ ンできる人材
養成する能力	<p>地域社会の現状と成り立ちを幅広い視点から理解することができる能力を身に付ける</p> <p>地域社会の課題を発見するとともに、分析することができる能力を身に付ける</p> <p>地域の資源を新たなまちづくりに活用することができる能力を身に付ける</p> <p>新たなまちづくりに向けて制度を設計し政策を提案することができる能力を身に付ける</p> <p>地域で主体的・協働的に行動し、活力あるコミュニティの形成に貢献することができる能力を身に付ける</p>	<p>自然現象のメカニズムを理解し、建築・地域デザイン技術に活かす能力を身に付ける</p> <p>人間及び社会の要求・条件を理解し、建築・地域・環境・制度を構築する能力を身に付ける</p> <p>資源活用と建設プロセスを構想し、建築・まちづくりとして実現する能力を身に付ける</p> <p>歴史文化を尊重し、目標を立てて建築・地域を創造するデザイン能力を身に付ける</p> <p>工学・地域デザインと芸術・文化のバランスのとれた感性を磨く</p>	<p>自然科学の基礎理論と社会基盤整備のための基礎的な専門知識・理論が理解できる</p> <p>社会基盤整備の実務上の問題に対応するために、専門知識を適用・発展することができる</p> <p>社会基盤の世界的動向を把握して、グローバルな技術展開ができる</p> <p>社会基盤整備による問題解決のための適切な施策を提案することができる</p> <p>社会基盤整備及び施策を、適切な形で着実にやり遂げることができる</p>

育成する人材像と養成する能力

資料10 要望書等

**〔 栃木県市長会
栃木県町村会 〕**



栃市長会第403号

平成27年1月27日

国立大学法人宇都宮大学長
進村武男様

栃木県市長会長 佐藤 栄



地方創生に向けた国立大学法人宇都宮大学の充実強化に関する要望書

日頃から、県内各市の振興に対する様々なご協力に感謝申し上げます。

我が国は、急速な少子高齢化と人口減少というかつて経験したことのない大きな課題に直面しており、県内各自治体においても、若者が定住するための就業機会の創出や、結婚や子育てなど安心して暮らせる社会づくり、また、女性や高齢者の力が十分に発揮できる環境づくりなどに向けて、従来の枠にとらわれず果敢に取り組んでいくことが必要であると考えております。

そのような中、このたび貴学において構想されている「地域デザイン科学部」(仮称)は、地域の様々な課題を解決するため、コミュニティ、都市建築、社会基盤の専門性に加え、国際性や多様な分析力を備え、かつ本県の現状を総合的、俯瞰的に捉えることのできる人材の育成を目指すものであり、誠に時宜を得たものであります。

さらに、大学の学部学科の充実と魅力向上は、多様な人材を呼び込み、育成することで、地域の活力向上へとつながり、地方創生の観点からも大変重要でありますので、今回の新学部構想を受け、県内外の多くの若者が貴学において学び、卒業後には地域に定着して活躍することを期待し、本構想を全面的に支持するものであります。

また、教育の実施に当たっては、地域の課題解決能力の向上を図るための内容となるよう、実践的な演習の場の提供など、多様な連携・協力を行って参りたいと考えており、貴学による新たな地域づくりの取組が、地域の課題解決のモデルケースとなることを大いに期待いたします。

貴学におかれては、県内唯一の国立大学として、これまで多くの地域を支える優秀な人材を輩出し、農学・工学・教育等の各分野において多大な御協力をいただいているところであります。引き続き地域貢献に御尽力いただくとともに、今回の新学部構想が早期に実現されることを強く要望いたします。

平成26年度第3回町村長会議 会議録 (抜粋)

1. 開催日時 平成27年1月20日(火) 15時30分～17時00分

2. 場 所 栃木県自治会館 302会議室

3. 出席者

(1) 役員

会 長 古 口 達 也

副会長 真 瀬 宏 子

副会長 高 久 勝

(2) 町村長

上三川町長、益子町長、市貝町長、芳賀町長、壬生町長、
塩谷町長、高根沢町長、那珂川町長

(3) 各郡町村会事務局長

芳賀郡事務局長、下都賀郡事務局長、塩谷郡事務局長

(4) 県

総合政策部

関根総合政策部長、美野輪総合政策部次長兼市町村課長、
高林課長補佐、石井主査

(5) 宇都宮大学

茅野教育・学生担当理事、新学部創設準備室 野川氏、須永氏

(6) 事務局

事務局長 遠藤時弘 次 長 日向孝夫 次 長 野澤敏光

次 長 田谷浩行

総務課長 津吹浩二 業務課長 森屋真二 振興課長 諸澤 仁

主 査 永岡久典 主 任 工藤孝幸

4. 会議結果は次のとおりであります。

1 あいさつ

(1) 会長あいさつ

(2) 県総合政策部長あいさつ

2 報告事項等

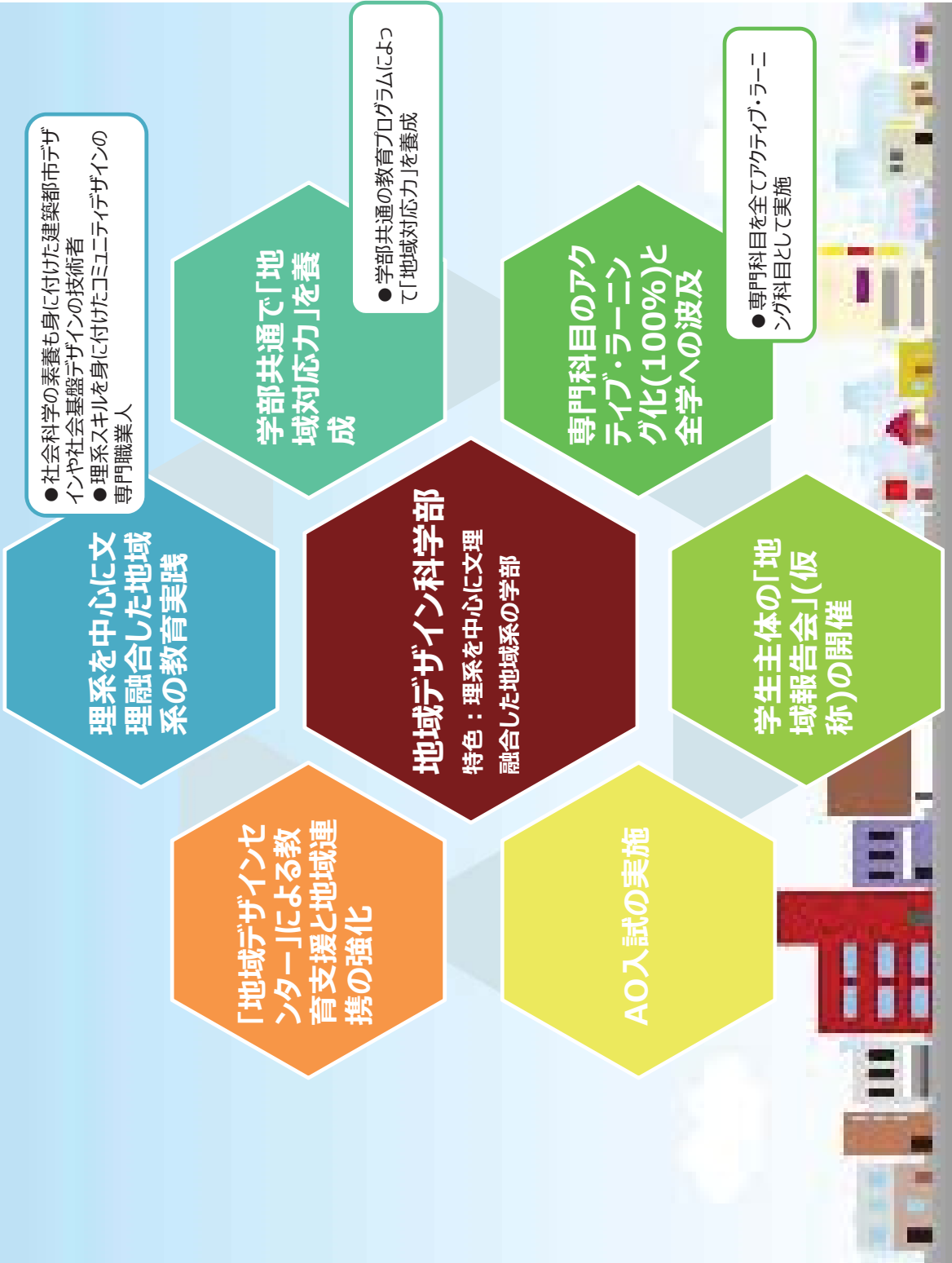
(1) 宇都宮大学「地域デザイン科学部」の設置構想について（当日配布資料）

資料に基づき、茅野教育・学生担当理事が説明を行い、新学部設置構想について賛同され、今後、各町が協力していくこととされた。

(以下 略)

資料11 新学部の特徴

新学部の特徴



資料12 教育課程編成の基本的な考え方及び特色

教育課程編成の基本的な考え方

教育課程編成にあたり、学部目的である「地域の課題を理解し、各地域の強み（地域資源・地域特性）を活かした、まちづくりを支える専門職業人」を育成するため、学生の学びが、単に知識や技術の修得にとどまらず、人間力や社会人力を一体的に涵養し、地域の抱える具体的な課題解決に貢献することを基本的な考え方とした。

基本的には、基盤教育科目において、「社会人の素養と人間力の養成」、共通専門科目において、「地域対応力の養成」、学科専門科目において、「地域社会をデザインする力（コミュニティデザイン学科）」、「居住空間をデザインする力（建築都市デザイン学科）」、「学際的な視野で社会基盤をデザインする力（社会基盤デザイン学科）」を養成する。

教育課程編成の基本的な考え方及び特色

教育課程編成の特色

文理融合した教育プログラム

まちづくりについて、地域を調査分析する理系技術や社会科学の素養を身に付けて、コミュニティデザイン、建築都市デザイン及び社会基盤デザインができる専門職業人を育成するために、学部の共通科目として、理系技術科目と文系科目を開講する。

学部共通で「地域対応力」を養成

「地域対応力」として、地域と向き合う力、地域の実態を調査し分析する力、地域の課題を解決する力を養成するための科目を開講する。

専門科目のアクティブ・ラーニング化（100%）と全学への波及

まちづくりを支える実践的な能力の修得を実現させる。そのために、全ての専門科目をアクティブ・ラーニング科目として実施する。

地域連携、学科混成による「地域プロジェクト演習」の必修化

「地域対応力」として特に重要な、コミュニケーション、調査・分析力、プレゼンテーション力、チームの一員として動く力（協働力）を養成することを目的に、3年次に「地域プロジェクト演習」を必修科目として行う。その内容は、地域の行政機関、民間企業、団体等と連携し、学生5人（3学科の混成）でチームを構成し、栃木県内をフィールドとして具体的な調査・分析を通じて、最終的には課題解決のための提言等についての発表会を開催する。

資料13 教育課程の編成（科目区分と目的）

資料14 履 修 表

コミュニティデザイン学科
建築都市デザイン学科
社会基盤デザイン学科

履修表 コミュニティデザイン学科

科目区分	授業科目名	必修科目の単位の単位	選択科目の単位の単位	卒業に必要な単位の単位	備考
基礎教育科目	初期導入科目	2			
	新入生セミナー	2			
	スポーツと健康	2			
	情報処理基礎	2			
	とちぎ終章学総論	1			
	Integrated English I A	2			
	Integrated English I B	1			
	Integrated English II A	2			
	Integrated English II B	1			
	Advanced English I (異なる分野から2科目)	1			
	Honors English	1			
	Honors Camp			36	
	Overseas Study				
	人文科学系科目	2			
	社会科学系科目	2		6	
	自然科学系科目	2			
	総合系科目(※2)	1			
初習外国語系科目					
キャリア創造科目	2				
自由科目					
地域デザイン学序論A	2				
地域デザイン学序論B	2				
地域デザイン学序論C	2				
共通専門科目	8		32	90	
学科専門科目	50				
合計		88	38	126	

(※1) 英語の履修においては、入学時TOEIC優秀者は異なる科目を履修するので注意すること。
(※2) 「とちぎ終章学特講」を必修とする。

履修表 建築都市デザイン学科

科目区分	授業科目名	必修科目の単位の単位	選択科目の単位の単位	卒業に必要な単位の単位	備考
基礎教育科目	初期導入科目	2			
	新入生セミナー	2			
	スポーツと健康	2			
	情報処理基礎	2			
	とちぎ終章学総論	1			
	Integrated English I A	2			
	Integrated English I B	1			
	Integrated English II A	2			
	Integrated English II B	1			
	Advanced English I (異なる分野から2科目)	1			
	Honors English	1			
	Honors Camp			36	
	Overseas Study				
	人文科学系科目	4			
	社会科学系科目	4		4	
自然科学系科目(※2)	2				
総合系科目(※3)	1				
初習外国語系科目					
キャリア創造科目					
自由科目					
地域デザイン学序論A	2				
地域デザイン学序論B	2				
地域デザイン学序論C	2				
共通専門科目	8		28	90	
学科専門科目	54		32	126	
合計		94			

(※1) 英語の履修においては、入学時TOEIC(優秀者は異なる科目を履修するので注意すること)。
(※2) 必修の2単位は、数学領域および物理学領域以外の科目から選択
(※3) 「とちぎ終章学特講」を必修とする。

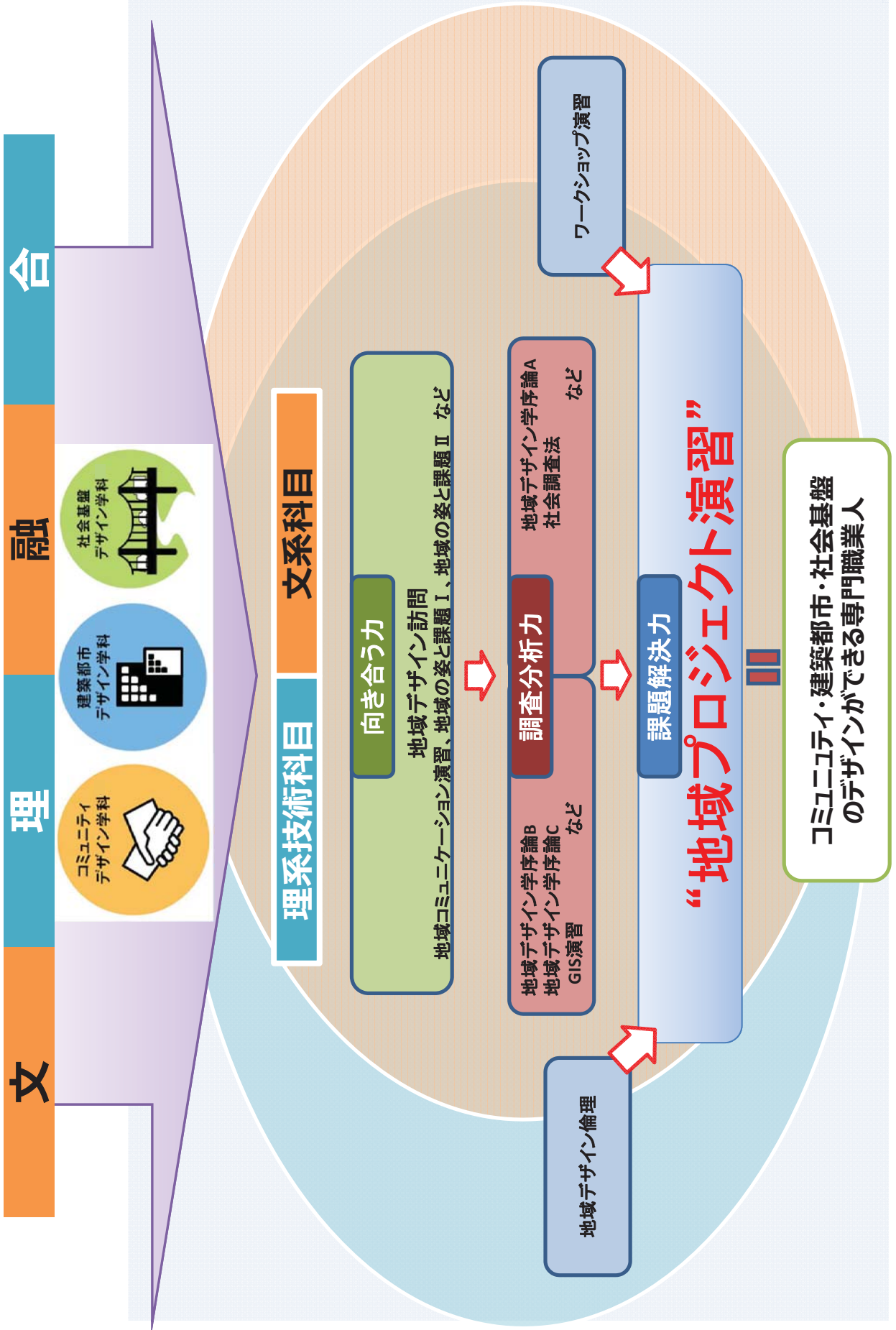
履修表 社会基盤デザイン学科

科目区分	授業科目名	必修科目の単位の単位	選択科目の単位の単位	卒業に必要な単位の単位	備考
基礎教育科目	初期導入科目	2			
	新入生セミナー	2			
	スポーツと健康	2			
	情報処理基礎	2			
	とちぎ終章学総論	1			
	Integrated English I A	2			
	Integrated English I B	1			
	Integrated English II A	2			
	Integrated English II B	1			
	Advanced English I (異なる分野から2科目)	1			
	Honors English	1			
	Honors Camp			36	
	Overseas Study				
	人文科学系科目	4			
	社会科学系科目	4		4	
自然科学系科目 (※2)	2				
総合系科目 (※3)	1				
初習外国語系科目					
キャリア創造科目					
自由科目					
地域デザイン学序論A	2				
地域デザイン学序論B	2				
地域デザイン学序論C	2				
共通専門科目	8			90	
学科専門科目	51		31		
合計		91	35	126	

(※1) 英語の履修においては、入学時TOEIC優秀者は異なる科目を履修するので注意すること。
(※2) 必修の2単位は、数学領域および物理学領域以外の科目から選択
(※3) 「とちぎ終章学特講」を必修とする。

資料15 文理融合した教育プログラム

まちづくりについて、地域を調査分析する理系技術や社会科学の素養を身に付けて、
コミュニティデザイン、建築都市デザイン及び社会基盤デザインができる専門職業人を育成



文理融合した教育プログラム

